

腸管出血性大腸菌（^{オー}O26）感染症患者の発生について（第 3 報）

平成 29 年 8 月 28 日（月）及び 29 日（火）に発表した高岡厚生センター管内における腸管出血性大腸菌（O26）感染症患者の接触者の健康状況調査（検便）を実施したところ、下記のとおり同型の菌が検出されましたのでお知らせします。

1. 患者の状況

- ・患者 高岡厚生センター管内 男性（10 歳未満）
- ・経緯 8 月 28 日（月） 第 1 報の患者の発生を受け、高岡厚生センターが接触者の健康調査（検便）を実施
8 月 30 日（水） 腸管出血性大腸菌 O26（VT1）検出
腸管出血性大腸菌感染症と診断
- ・症状 8 月 25 日（金） 下痢
現在、快復している

2. 患者及び感染源調査

- ・患者について、喫食状況・健康状況・行動調査を実施中
- ・患者家族等接触者の健康状況調査を実施
- ・患者に対し、医療機関への受診を勧奨

3. 対応

- ・患者自宅等の消毒を実施
- ・患者及び患者家族等に対し、衛生教育を実施

4. 予防対策の周知をお願いします

- ・調理の際、食事の際、トイレの後など手洗い消毒を徹底しましょう
動物とふれあった後にも、必ず石けんを使用して十分に手洗いをしましょう
- ・肉類や加熱する食品は十分に加熱しましょう
特に食肉については、生食を避け、中心部まで十分加熱するようにしましょう
※生食用の牛レバーは提供・販売されていません。
- ・生野菜は流水でよく洗いましょう
- ・調理器具を使い分けましょう
生肉が触れたまな板、包丁、食器等は、生野菜や加熱済み食品を汚染しないよう、十分洗浄消毒してから使いましょう
※焼肉やバーベキューを楽しまれる場合は、生肉専用の箸やトングを使用し、食べる際の箸と使い分けをしましょう

■下痢等の症状がある場合は、速やかに医療機関を受診し医師の診察を受けましょう

| 5. 参考 | (平成 29 年) | (平成 28 年：同時期) |
|----------|---------------|---------------|
| (1) O157 | 12 名 | 0 名 |
| (2) O26 | 11 名 (本事例を含む) | 3 名 |
| (3) O91 | 3 名 | 0 名 |
| (4) O121 | 0 名 | 3 名 |
| (5) O145 | 0 名 | 1 名 |
| (6) O146 | 1 名 | 0 名 |

【報道機関各位へお願い】

報道に際しては、患者様御本人及び御家族のプライバシーに十分な御配慮をお願い致します。